

「赤い羽根 子どもと家族の緊急支援 全国キャンペーン」助成決定団体一覧

宮城県共同募金会

令和3年 2月 15日 現在

No.	団体名	住所	決定内容		
			活動名称	活動概要	助成額
1	フードバンク仙台	宮城県仙台市	コロナウイルスに伴う生活困窮者への食料支援事業	新型コロナウイルスに伴い生活困窮されている個人、支援団体（子ども食堂、路上生活者支援、被災者支援等）を対象に無償で食料を支援することで、命と暮らしを守ります。現在、多い日には70名に食料を届けており、食料在庫が常に不足しているため、食料の購入費も必要としている。スタッフは全員無給で活動している。SOSが多い。	200,000
2	一般社団法人 ワタママスマイル	宮城県石巻市	「渡波地域こども食堂」に通っている子どもたちへの配食と食料支援事業	石巻市はひとり親世帯の割合が全国平均の2倍、就学援助を受けている児童生徒の割合も50%近くと生活困窮の割合が高い地域である。さらに新型コロナウイルスの影響により休職や失業に追い込まれる保護者が増加している。当団体が運営している「渡波地域こども食堂」に通うひとり親世帯の子どもは、日々の食事にも困窮しているため、食糧支援とお弁当の宅配を実施する。	190,000
3	特定非営利活動法人 Synapse40	宮城県大崎市	アフターコロナを見据えた共生社会の実現に向けた三方良しテイクアウト買取宅配事業	古川支援学校や大崎市立小中学校に通い、放課後等デイサービスを利用する新型コロナにより日常生活に困難を抱える家庭を支え、必要とされる子どもを対象として趣旨に賛同する飲食店からお弁当を買取り、放課後等デイサービスの事業者を介してお昼のお弁当を提供する事業を継続する。	200,000
4	一般社団法人 気仙沼あそびーばーの会	宮城県気仙沼市	経済的に困難を抱える子どもへの配食と見回り活動事業	これまでの子どもの居場所づくり活動の中で出会った貧困等の困難を抱える家庭の子どもと家族を対象とする。子どもの遊び場「気仙沼あそびーばー」を拠点として、フードバンクの食品と、ニーズに合わせて購入した食品を各家庭ごとに仕分けして宅配する。訪問によってDVやネグレクトを未然に防ぎ、子どもを見守る。	200,000
5	一般社団法人 フリースペースつなぎ	宮城県気仙沼市	不登校の子どものためのオンラインを活用した学習支援事業	新型コロナウイルス感染拡大により4月よりビデオ会議ツールZoomを使用し、オンラインで自宅に居ながらの学習支援を開始。更にパソコンを整備することで一人一人の子どもへの学習の機会の保証として、各家庭のオンラインの学習環境整備の支援を行っていく。	100,000
6	みさとひまわり食堂	宮城県遠田郡	みさとひまわり食堂に通ってくる、ひとり親家庭の子どもたちのための配食事業	みさとひまわり食堂に通うひとり親家庭の子どもたち家族を対象として、地域飲食店（テイクアウト）弁当を購入運搬し、駅東交流センターで配布したいと考えます。新型コロナウイルスの影響により低迷する地域飲食店とひとり親家庭の子どもたちとその家族を応援する事業を行っていく。	88,000
7	みんな食堂実行委員会	宮城県本吉郡	一人親家庭や地域課題を抱える世帯等に「こころパック」配布事業	新型コロナウイルスの影響により、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わり、ストレス課題が顕著化している。これらの心のケアは、子どもも保護者も両サイドから寄り添う必要がある。親子間のストレス緩和を目的とし、食事やおやつ作りを一緒に楽しむ時間を過ごせるよう、ひとり親家庭や地域課題を抱える気がかりな世帯に対して「こころパック」と称した食材、お料理・お菓子作りキッドを配布する。	150,000
8	特定非営利活動法人 Synapse40	宮城県大崎市	アフターコロナを見据えた共生社会の実現に向けた三方良しテイクアウト買取宅配事業（2回目）	古川支援学校や大崎市立小中学校に通い、放課後等デイサービスから情報提供を頂き、新型コロナにより日常生活に困難を抱える家庭に対して、土・日に配食実施をし、その際に相談活動も行っている。	150,000

No.	団体名	住所	決定内容		
			活動名称	活動概要	助成額
9	みさとひまわり食堂	宮城県遠田郡	みさとひまわり食堂に通ってくる、ひとり親家庭の子どもたちのための配食事業（2回目）	みさとひまわり食堂に通うひとり親家庭の子どもたち家族を対象として、地域飲食店（テイクアウト）弁当を購入運搬し、駅東交流センターで配布したいと考えます。新型コロナウイルスの影響により低迷する地域飲食店とひとり親家庭の子どもたちとその家族を応援する事業を行っていく。	88000
10	フリースクールINごきげんサロン こころのテラス	宮城県仙台市	子育てサロンと交流会～回復と成長の場～	新型コロナウイルス感染拡大による自粛生活が長期化し、いまだ収束の目途が立たない状況の中で、将来に不安を抱き、疲労が蓄積している子どもや親御さんのために実施した交流会が効果的であった。エネルギーを充電する場の必要性を感じた。感染防止対策を講じつつ、心理ケア目的とした子育てサロンと交流会を企画、継続していく。安心できる居場所での体験を通して、個々の心理的な回復と交友関係の広がりを実現していきたい。	110000
11	地域・子ども食堂 イートる	宮城県気仙沼市	困窮世帯に対する配食事業及び、生活相談窓口の紹介事業	生活困窮者相談窓口「ひありんく気仙沼」、気仙沼市社会福祉協議会、気仙沼地域子ども食堂ネットワークとの連携を通じて、支援を必要としている家庭に、弁当や食料のテイクアウトや配食を行う。また、お弁当に同封のチラシには、地域の生活、子育て相談窓口や子育て支援団体の周知を付け加え、子どもや保護者の孤立防止を図りたい。	200000
12	たけくまこども食堂	宮城県岩沼市	一人暮らしの高齢者や生活困窮、ひとり親家庭へのテイクアウト・フードパントリー	一人暮らしの高齢者や生活困窮、ひとり親、障がいを持つ子どもと家庭を対象として、世代間を超えた交流を図るための地域食堂、ミニコンサートを開催してきたが、コロナウイルス感染拡大後は、お弁当のテイクアウトやフードパントリーを行い、地域での助け合いを育んでいる。	67000
13	特定非営利活動法人ルネッサンスファクトリー	宮城県加美郡	子どもたちが地域の大人と交流する事業	新型コロナウイルス感染拡大による学校休校が終わったあとも、色麻町内には不登校となっている子どもたちがいます。現在、町内にはフリースクールや子ども食堂等はありません。コミュニティスペースを利用し、勉強会やお茶飲み会を開催し、子どもの居場所づくり、不登校の子どもを持つ親との地域の交流の場を作ります。	200000
14	みさとひまわり食堂の会	宮城県遠田郡	みさとひまわり食堂に通ってくる、ひとり親家庭の子どもたちのための配食事業（3回目）	みさとひまわり食堂に通うひとり親家庭の子どもたち家族を対象として、地域飲食店（テイクアウト）弁当を購入運搬し、駅東交流センターで配布したいと考えます。新型コロナウイルスの影響により低迷する地域飲食店とひとり親家庭の子どもたちとその家族を応援する事業を行っていく。	100000
15	東仙台子ども食堂	宮城県仙台市	遅くまで働いている家庭の子どもたちにバランスの取れた食事の配食事業	東部市民センターで子どもたちの孤食を防ぎ家庭的な雰囲気の中で皆と一緒に食べる子ども食堂を運営している。コロナ禍のなか、両親が遅くまで働いている家庭の子どもは偏った食事になりがちであり、栄養バランスの取れた食事の配食を行いたい。	60,000
16	フードバンク仙台	宮城県仙台市	コロナウイルスに伴う生活困窮者への食料支援事業（2回目）	新型コロナウイルスに伴い生活困窮されている個人、支援団体（子ども食堂、路上生活者支援、被災者支援等）を対象に無償で食料を支援することで、命と暮らしを守ります。これまで約2,000名に食料提供を行ってきた。食料在庫が常に不足しているため、食料の購入費として活用したい。	150,000
17	ハピネスジバング	宮城県仙台市	ひとり親家庭・困難を抱えた家庭への配食事業	地域食堂「ちいちゃん食堂」を月2回開催しているが、食料や食事の配食を必要としているひとり親家庭も多くある。訪問を通じた見守り活動を行い、専門的な支援が必要と思われる家庭があれば、関係機関へつなぐことで、虐待やDV防止を図る。	114,000
18	特定非営利活動法人キッズドア	宮城県仙台市	困窮家庭の中高生を対象とした無料学習支援事業	仙台市内、及び近隣市町村に住む経済的もしくは、家庭の事情などから有料の教育サービスを受けることの難しい中高生を受入れ学習会を行っています。コロナ禍におけるオンライン学習会に必要なタブレットや、感染症対策のための備品整備をしたいと考えます。	200000
19	社会福祉法人 仙台いのちの電話	宮城県仙台市	電話・メール相談活動のためのボランティア相談員養成と相談員継続研修事業	不安や悩みを抱えている人たちが電話やメール相談できる場所として、仙台いのちの電話は年中無休で活動している。コロナ禍で増加傾向にある課題を抱える家庭や生活不安等の相談に対応するためにも、相談員の養成と継続研修事業は欠かすことができない。DVDやプロジェクターを使用する研修が多く、充実を図るため資機材整備について申請します。研修と実践を積み重ねることにより、相談者に寄り添った適切な対応を目指したい。	200,000

No.	団体名	住所	決定内容		
			活動名称	活動概要	助成額
20	フードバンク仙台	宮城県仙台市	コロナウイルスに伴う生活困窮者への食料支援事業（3回目）	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、生活困窮されている個人、支援団体（子ども食堂、路上生活者支援、被災者支援等）を対象に無償で食料を支援することで、命と暮らしを守ります。これまで約2,000名に食料提供を行ってきた。食料在庫が常に不足しているため、食料の購入費として活用したい。	100,000
21	よりみちの会	宮城県仙台市	よりみち～のんびり食堂での新型コロナ感染予防、及び困窮家庭のための配食事業	よりみち～のんびり食堂（こども食堂）は、宮城野区内の市民センターを拠点に、困窮家庭の子どもたちやその家族、地域の皆さんを対象に毎月1回開催している。来場者安心と安全を確保するため、飛沫防止パーテーションと配食事業の際に使用する段ボール箱や消毒液等の消耗品等を購入し、感染症の予防対策を進めていきたい。	200,000
22	一般社団法人復興支援作業ネットワーク	宮城県仙台市	ひとり親家庭の子どもたちのためのアートを活用した子どもの居場所づくり	ひとり親家庭の子どもたちを一時的に預かり、絵を描く、アロマクラフト工作を実施する。このコロナ禍において、子どもにかかるストレスは大きい。自分の言葉では表現しきれない想いを、絵を描くことを通じて伝え、創造力や発想力を養うことに繋げていく。開催にあたっての材料費や食材費に活用したい。	88,000
23	宮城野子ども食堂	宮城県仙台市	ひとり親家庭へのお弁当と支援品の配布事業	コロナ禍の影響により、集まって一緒に食べることができないことから、ひとり親家庭の子どもと保護者を対象に、60食のお弁当と支援品の配布を行う。食糧費の購入に活用したい。	200,000
24	おりざの家	宮城県仙台市	孤食や生活困窮家庭、ひとり親・共働き家庭子ども等への配食と居場所づくり事業	孤食や生活困窮家庭、ひとり親・共働き家庭子どもや一人暮らし高齢者への配食と居場所づくりを行っています。コロナ対策として3密を避けるための拠点づくりとしてのアクリル板やテーブル、及び配食事業の受益者が増加しているため、炊飯ジャーの購入費として活用したい。	200,000
25	いずみワクワク食堂	宮城県仙台市	生活困窮家庭への配食、及びオンラインによる学習支援と相談支援事業	ひとり親家庭や困難を抱えた家庭、コロナ禍おける生活困窮家庭への食材パントリー活動の配送費と、オンラインを活用した学習支援と相談支援を行うための機材等の整備費として活用したい。	200,000
26	むすび隊	宮城県仙台市	地域の子どものための居場所づくりと保護者交流事業	コロナの影響により、交流の機会や発散の場が失われ、体力低下やストレスによる体調不良が懸念される子どもたちの支援、及び保護者たちの心の繋がりを途絶えさせないよう公園で交流の場をつくる。2月から子ども食堂の運営を会食形式から、食料提供に切り替えるため、その居場所づくりに必要な備品整備に活用したい。	100,000
27	一般社団法人ワタマスマイル	宮城県石巻市	「渡波地域こども食堂」に通っている子どもたちへの配食と食料支援事業（2回目）	石巻市はひとり親世帯の割合が全国平均の2倍、就学援助を受けている児童生徒の割合も50%近くと生活困窮の割合が高い地域である。さらに新型コロナウイルスの影響により休職や失業に追い込まれる保護者が増加している。当団体が運営している「渡波地域こども食堂」に通うひとり親世帯の子どもは、日々の食事にも困窮しているため、食糧支援とお弁当の宅配を実施する。	150,000
28	特定非営利活動法人Synapse40	宮城県大崎市	コロナ禍で生活に変化をおよぼした子どもの学びを支える志誠塾オンライン事業（3回目）	当地には困窮家庭の子どもを対象とした無料の塾がなかったことから、学び直しをする機会を確保しようと2016年から志誠塾「おおさき寺子屋」を開設し、子どもの学びの特性に合ったテキストや、Web教材での学習支援を実施してきた。コロナ禍の影響によりオンライン学習を希望する子どもたちが増えているなか、それに対応するPC類が不足しているため助成金を活用し、子どもたちの学びの環境を整えたい。	100,000
29	特定非営利活動法人ふうどばんく東北AGAIN	宮城県富谷市	ひとり親家庭支援お弁当の配食と食糧支援フードパントリー事業	新型コロナウイルス感染症の影響で、一番打撃を受けたのは非正規雇用で元婚業者、自身の親からも援助を受けられない「ひとり親世帯」です。生活に困難を抱えている方々に手作りのお弁当を週1回配達し、この日だけは親子でゆっくりと食事の時間を楽しんでいただきます。配達のガソリン代、食材代として活用したい。	200,000